

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和4年度第4回戸田市外部評価委員会 (施策7 スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実)
開催日時	令和4年8月5日(金)午後3時00分 ~ 午後4時25分
開催方法	Web会議
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 興松 敬史 委員 石田 真由美 委員 宮崎 仁美 委員 芳賀 良 委員 長谷川 孝雄
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	市民生活部 次長 矢ヶ崎 富士夫 文化スポーツ課 課長 増澤 直哉 副主幹 水巻 謙一郎
事務局	石橋部長 佐藤次長 甲原課長 石嶋主幹
議 題	1 外部評価委員紹介 2 担当部局紹介 3 外部評価ヒアリング
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	・次第及びタイムテーブル ・施策評価シート及び事務事業評価シート ・ロジック・モデルシート(令和3年度版) ・事前質問及び回答

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開 会</p> <p>2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。</p> <p>3 担当部局紹介 評価対象施策担当部局の紹介を行った。</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>○施策の概要 担当者 概要説明を行った。</p> <p>○事務事業の妥当性、施策指標の妥当性 委員 スポーツセンターの事務事業について、伺う。指標のK P Iに年間35万人の利用者数とあるが、先ほどの事前質問 No 8 の回答では、予約システム登録者件数は、プールとプール以外を合わせても年間14.5万人しかないが、指標K P Iの35万人との乖離の要因は何と考えるか。また、35万人の数字はどのように把握しているのか。</p> <p>担当者 35万人と14.5万人の数字の差異については、14.5万人は利用者システムで利用者が支払った金額の合計から算出しており、これ以外にも陸上競技場や無料の施設の利用者も含めると35万人という数字となる。</p> <p>委員 そうすると、事前質問 No 8 に対する回答において、市内・市外利用者の把握のために質問をしたが、無料の利用者の方でも市外の方がいるということで、市外の無料利用者も含めた利用者数が事前質問の回答と一致するという認識でよいか。可能であれば、35万人の内訳を知りたい。</p> <p>担当者 無料の陸上競技場の部分の市内及び市外の区分けについては、数字を持っておらず、内訳については、申し上げることができない状況である。</p>

委員	<p>総合振興計画にある観点でキーワードの「誰もが」という点について、質問したい。この「誰もが」の時には、ある取組がなければ、参加できない、排除されてしまう人がいるから、誰もがという単語が入ってくることになると思うが、このスポーツの施策において、市が展開しているユニバーサルデザインの計画との関係性はどうなっているのか。</p>
担当者	<p>「誰もが」という部分であるが、市民の誰もがという意味なので、障がい者の方も含まれると考えている。</p> <p>ユニバーサルデザインについて、障がい者や高齢者に配慮したところでは、例えばスポーツセンター入口の段差をなくすといった配慮を進めている。</p>
委員	<p>事業の過不足がどうかという話である。市内における個別施設の改修という点より、具体的に、様々な場面で、ある一定のハンデを持った方も楽しめるようにしていくということがあるので、個別改修に至る前の段階として、市全体としてのプランニングがあり、一つ一つ挑戦されるために、お金をかけていると考える。そういった意味では、この施策において、市の手助けがなければ参加できないような方々を参加しやすくするという事業は、組み込まれていないということか。</p>
担当者	<p>現状では、障がい者向けのボッチャというような運動をしているが、段差の話というような配慮については、今のところ、思いつかない。</p>
委員	<p>配慮には、段差をなくすだけでなく、女性の方が気軽に利用しやすいようにする更衣室を整備したりなど、かつては気付かなかったが、徐々に気づいてくるものがたくさんある。それらを組み込んでいるかと思っていたが、そのような事業は、この施策の設計上、入っていないという理解でよいか。</p>
担当者	<p>例えば、障がい者や高齢者への配慮では、施設のモニタリングで、何か問題があって改修しなければいけないという意見があれば、その都度対応はしている。</p>

<p>委員</p>	<p>指定管理制度が動いている部分はそうかもしれないが、事業全体を見ると学校施設の利用など、かなり広範囲に環境設定されており、その全体の水準を上げるとなっていたので、このような質問をした。</p> <p>次の質問となるが、事前質問に対する回答で、総合振興計画の中にはアンダーラインを引いてある箇所として、既存施設等の資源の「既存の」と書いてあり、事前質問の中では民間企業が提供している各種ファシリティ等の関係についての質問がでたと認識しているが、その延長でスポーツ・レクリエーションを楽しむということは、かなりのお金が動く産業としての側面も存在しているので、例えば、市内の商工会に加盟する企業との間でどのようなことを行っているか、具体的な連携とは言わなくとも、一歩手前となるような調査はしているのか。</p> <p>場合によっては、市内のスポーツできる環境の一覧表が作られたときには、公的施設だけではないわけなので、広い意味でいう産業政策も絡め、チャレンジされたことはあるのか。</p>
<p>担当者</p>	<p>民間施設を調査して一覧を作る予定はないが、例えば、マラソン大会で、民間企業や施設に協力してもらうなどの協働は行っているが、お金が絡むような産業の観点からの民間施設の把握はやっていない。</p>
<p>委員</p>	<p>施策では、スポーツ・レクリエーションということで、レクリエーションが入っているが、聞いているとスポーツに関係する話しかでていない。レクリエーションに関しては何かあるか。</p>
<p>担当者</p>	<p>スポーツ・レクリエーションとあるが、レクリエーションもスポーツの一つと考えている。実際は、余暇・趣味としてやっている方が多いと思うが、施策ではスポーツという括りで進めている。</p>
<p>委員</p>	<p>施策でわざわざ分けている意味は特にないということか。</p>
<p>担当者</p>	<p>スポーツと言うと、競技スポーツのイメージがあるが、体を動かすこともスポーツの一部という意味で、スポーツ・レクリエーションとしている。</p>

<p>委員長</p>	<p>スポーツ・レクリエーションは慣用句として、よく自治体の計画書の中にも登場するが、戸田市におけるレクリエーションは、具体的にはどのようなスポーツなのか。</p>
<p>担当者</p>	<p>ミニテニス、ソフトバレーボール、ディスクゴルフなどといったものがレクリエーションとなる。</p>
<p>委員</p>	<p>市民委員として、スポーツセンターの利用について、確認したい。スポーツセンターの予約システムで予約するが、例えばプール、トレーニングルーム、陸上施設も含めて、各施設の利用状況がオンライン等で分かるようになっているのか。例えば、ネットで今の状況が見える化できていないと、コロナ禍で、利用状況のみで混雑しているならやめようとか、そのようなニーズも高いと考えるので、ぜひそのような対応していただきたい。</p> <p>次に、例えば、陸上競技場の利用時間は9時から17時である。猛暑の中、利用する人がいなくて、早朝や夜間のランニングなどのニーズが極めて高いが、そのような時間帯は利用不可となっている。おそらく黙認しているのかと思いますが、その点についての見解を聞きたい。</p> <p>3点目は、隣に新曽中学校があるが、平日の午後、陸上競技場はその部活動で占有されている。その状況についての認識と許可していることなのか、一般の利用者が利用できないような状況になっている。この3点について聞きたい。</p>
<p>担当者</p>	<p>1点目の利用状況の見える化については、現在、予約が埋まっているのかどうかは、スポーツ施設予約システムの方で確認できるようになっている。</p> <p>2点目の利用時間について、早朝・夜間については、黙認している状況である。夜間については、ナイター設備もないことから、暗くなったらできないという状況である。警備の関係もあり、時間内での利用をお願いしている。</p> <p>3点目の新曽中学校については、部活ということで使用していることは把握している。学校には、ほかの利用者の方に気を付けて一緒に使うように話をしている。</p>

委員	<p>1点目については、コロナ禍でキープ・ディスタンスを気にしている方がいるので、デジタル化を推進していただきたい。遠くからきて、プールやトレーニングルームが混雑して利用できない、陸上競技場は占有されて使えないなど、諦めて帰る方がいるので、遠くから来た人が把握する仕組みについては、課題として対応していただきたい。</p> <p>2点目も、真夏の午前9時や午前10時にランニングする方はおらず、涼しい時間帯を利用したいというニーズがあると考えるので、柔軟に対応していただきたい。朝の早い時間帯など、利用者のニーズに沿ったサービスを考えていただきたい。</p>
委員	<p>2点質問したい。1つ目、スポーツ教室を開催しているとのことだが、その受講者の方々が、それをきっかけに継続した活動につながったという例はあるのか。</p> <p>もう1点は「ボートのまち」ということをもっと呼びかけても良いと感じているが、戸田市民のボートチームがどのくらいあるのか。</p>
担当者	<p>スポーツセンターで、体操教室を開催しており、その後、継続して選手になる方もいる。ボートや彩湖でカヌー教室などやっているが、その後、カヌーに興味を持って、市民団体などに入って継続してやっている方などもある。</p> <p>2点目の市民クルーについては、5団体がボートを借りるために登録はしている。</p>
委員	<p>指標とロジック・モデルシートを照らし合わせる中で、1点質問したい。</p> <p>スポーツ推進事業の産出の項目を見ると、全国大会に出場する市民に対する助成金を交付することを産出としている。何かの活動をした成果物が産出となるものであり、これを増やすために頑張る、というのが産出の位置づけだと理解している。つまり、助成金の絶対量を増やすことが正しいことだという設計になっているが、助成金の絶対量を増やすことが目的という理解でよいか。</p>
担当者	<p>ロジック・モデルシートではこういった形になっているが、助成金を増や</p>

	すためではなく、スポーツをする方を応援するという意味合いである。
委員	産出のところに助成金を出すと書いてあるので、算出は増やすためのターゲットではないか。これが増えていくということがロジック・モデル上の活動の位置づけである。
担当者	この部分については、今後、修正したい。
委員長	この産出は、市が市民に助成金を交付するということである。その結果、助成金を交付された市民が活躍するというロジックで、中間成果が「スポーツに参加する、スポーツを支えるなど、スポーツに携わる市民が増える」ということである。私は、特に問題ないような気がするが、中間成果と直接成果の矢印の因果関係が成立しているかどうか、という点は、やや疑問符がつく。助成金を交付する市民は、そもそも何らかのスポーツをやっているのではないかと、ということである。だとしたら、中間成果に結びつくのかどうか。要するに助成金が交付されることによって、これまでスポーツに馴染みがなかった方がスポーツを始められると、幅広なスポーツ人口が増えていくというロジックは成立するかと考えるが、現実には、やっている人が助成金を得て大会にでることであると推測する。
事務局	ロジック・モデルシートについて「市民が全国大会等で活躍する」という直接成果があるので、そこに資する産出「全国大会に出場する市民に助成金を交付する」、これ自体が増えていくということは、市として、問題はないかと考える。あくまでも短期的な成果として、「市民が全国大会等で活躍する」とあるので、施策としては議論の必要性はあるかもしれないが、ロジックとしては、そのような流れである。
委員	お金は投入するもので、お金が成果と言われると、分からない面が正直ある。
事務局	おそらく、成果が「市民が全国大会等で活躍する」に結びついてしまっている、段階をもう少し分けた方が良いと感じている。

委員長	委員の質問の中で、産業経済とこの施策との関連性については、施策7以外で産業経済に関する施策があると思うが、その施策の担当課、関係課として文化スポーツ課は関与しているのか。要するに、スポーツを通じた地域活性化の具体的な内容というものが明らかになっていないが、どうか。戸田市はそこまでは射程に入れていないということなのか、この10年計画では。
担当者	総合振興計画上の経済の部分に、文化スポーツ課は関係課として入っていないが、地域の活性化という点では、ボートのまちづくりという観点で、経済と関係する部分もある。
委員長	確認となるが、産業経済分野に文化スポーツ課は入っているということによいか。つまり、施策評価シートに関係課として、書かれているということか。事実確認となります。
担当者	関係課として入っていない。
委員長	もう一度確認だが、産業経済分野の施策が総合振興計画の施策7以外にもあるが、その施策評価シートの関係課の中には、文化スポーツ課の名前は入っていないか。
担当者	関係課として入っていない。
委員長	<p>ということは、連携していないということ。そのようなビジョンを描いていないという理解になるが良いか。</p> <p>もう一つ、スポーツに関して言えば、健康増進施策の関係課として、文化スポーツ課は入っていないか。</p>
事務局	補足となるが、地域福祉の分野においては、文化スポーツ課は連携し、関係課にも名前を連ねている。
委員長	健康増進分野はどうか。地域福祉の中に高齢者の方の健康増進があるの

	<p>か。それが外部評価の対象となったら、そこに名前が挙がるということでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度の外部評価対象ではないが、地域福祉の推進に文化スポーツ課も関係課として名前が挙がっている。</p>
委員長	<p>現行の総合振興計画の施策の推進として、入っていると理解した。</p>
委員	<p>○資源の方向性 スポーツセンターの管理運営の予算について、確認したい。事業費、人件費含めて、2億数千万円の予算規模である一方で、事前質問No11の回答のとおり、施設利用収益やスポーツ利用収益で1億円超の収入があるが、その収入は、市の自主財源に分類されるものと見受けるが、会計処理ではスポーツ事業に再投入されるわけではなく、自主財源として多目的に使用されるということでしょうか。</p>
担当者	<p>この収入は、指定管理者の歳入となるため、市の一般財源にならない。</p>
委員	<p>この収入は、何に使われるのか。財源としては、使用制限があるのか。</p>
担当者	<p>指定管理事業者の事業費として使われることになる。</p>
委員	<p>事務事業評価シートで、令和3年度は2億5千万円、人件費が550万円で合計2億5千550万円という事業費があり、収入も充てられているということでしょうか。つまり、事業者が稼いだお金が1億円超あり、市からでる費用は1億5千円程度になっているという理解でよいのか。</p>
担当者	<p>指定管理者制度を導入しており、ここに記載している予算は、指定管理者への指定管理料となることから、1億円超の金額については、指定管理施設を運営していく中で、指定管理者が収益として得るもので、指定管理者は合わせた3億数千万円で運営をしていることになる。</p>

委員	<p>例えば、ここを伸ばした時のインセンティブは指定管理者のみで、いわゆる受益メリットは、指定管理者だけになり、市の収入は変わらないのか。施設利用収益やスポーツ利用収益を伸ばしても市にはお金が入ってこなくて、指定管理者の懐に入るだけなのか。</p>
担当者	<p>指定管理者が収益を得た場合、返還の規定がある。事業費利益が10%を上回った場合は、市と半分ずつに分けるようになっている。基本的には指定管理者を選定する際に、余剰が大きく見込める事業計画ではなく、過去、利益が10%を超えて、分け合ったことはない。確かに、事業収益の増加に伴い、指定管理者の収益が増え、10%を超えた場合、その半分は市に返還されるため、市に多少なりともお金が入ってくる可能性はある。</p>
委員	<p>つまり、シートに載っている数字と、事前質問の数字の整合性として、見えない部分があるので、投入経費に対する対応収益を明確にしてほしい。インセンティブがどこにあるのか、指定管理者にあるのか、市にあるのか、指定管理者が儲かる仕組みになっているのであれば、ここに注力して市外利用者を含む収益事業だけ一生懸命頑張ろうというような、変な方向にならないか、という点が懸念である。</p>
担当者	<p>指定管理者を選定する際に、事業計画として収益を見込んだ上で、指定管理料を定めているため、基本的には大幅に収益がでる可能性というのは、ほとんどない。さきほどの50%については、収益の余剰部分が10%を超えた場合のみ、50%ずつ分け合うという意味である。また、公共施設という性質上、大きく利益をあげる目的でなく、市外の方を増やすような目的の事業も行っていないという状況である。</p>
委員	<p>透明性として、収益についてしっかりチェックしていただきたい。</p>
委員	<p>ロジック・モデルシートが一番上の塊の矢印をみると、中間成果が7個あるうちの右側3つが、どこに帰結しているのか。少なくとも、黄色の指標のところには結びついていない書き方になっているので、どのように解釈したらよいか。</p>

担当者	右側の3つについては、最終成果に結びついているという認識で引っ張っている。
委員	裏を返すと、3本の矢印に対応した指標はないということになる。
担当者	そのような状況である。
委員長	施策によって、対応が異なっているため、今後の課題として事務局と相談したい。
委員	<p>スポーツセンター管理運営費が令和3年度は約2億5千万円だが、令和4,5年度は約2億2千万円、令和6年度は約2億4千万円で、令和7年度で約1億5千800万円になっている。</p> <p>予算の約8割を占めている事業で、大きく変化している。資源の方向性の観点として、令和7年度の予算規模でも対応が可能なのか教えてほしい。</p>
担当者	金額の増減については、大きな修繕を予定している場合に増加、ないときは減少となる。
委員	あらかじめ、大きな修繕は、計画で決まっているという理解でよいか。
担当者	おおまかな計画はある。
委員	令和7年度までは、予算に組み込まれているという理解でよいか。
担当者	令和4年度については、計上している。
委員	大きな修繕の予定がない場合は、令和7年度の予算規模で対応が可能ということか。
担当者	このような金額で問題ない。

委員	ここ数年は、大きくお金がでていく予定があるということか。
委員長	スポーツセンターの大規模改修・建替え検討ということですが、要するに市の公共施設マネジメントのプライオリティとどう関連するか、ということになる。まだ、次年度の予算編成時期にはいないということだが、加えて予算を定めるのは、議会の権限であり、上程したところで削除可決ということもある。執行部側としては、スポーツセンターの大規模改修はどこまで決まっているのか。開始しているのか。すでに意思決定されているのであれば、外部評価委員会での判定の余地はなくなってしまうが。
担当者	大規模改修については、事前質問の回答でもあるが、新型コロナウイルスの関係で一旦先延ばしにしている中、建替えも含めて検討するための費用は令和5年度以降の予算には計上しているが、実際の工事費用等は、含まれていない。
委員長	まだ何も決まっていないということか。
担当者	大規模修繕か、建替えかは、決まっていない。
委員長	どちらにしても、いつやるか、やるということ自体も決まっていないということか。
担当者	それも含めて、これから検討していくところである。
委員長	今の発言は、担当課としての発言、市全体の位置づけとしての政策の場合で、違ってくるが。戸田市の場合、公共施設マネジメントは、どこが担当しているのか。
事務局	方向性も踏まえて、全般的に検討中である。担当部局からもまだ決まっておらず、施策評価シート上も反映はしていない旨を理解いただきたい。

委員長	矢印は、担当部局の考えということでしょうか。
事務局	さきほど、担当部局から説明のあった従前の計画において予定している改修が後ろ倒しになっている点が含まれていると考えている。さらに大きな大規模改修や建替えというようなものは施策評価シートには反映されていない状況である。
委員長	この件とは異なるが、白田の湯は廃止となった。あのよう、公共施設全体に対する状況などが刻々と変わっていく中、評価しづらい部分ではある。
事務局	刻々と動いている状況ではあるが、現時点の内容として評価していただきたい。
事務局	さきほど、文化スポーツ課がどこの施策に関係しているかという質問に対して、施策10「地域福祉の推進」と説明したが、次回の外部評価ヒアリング対象施策の施策11「高齢者福祉環境の整備・充実」にも関係課として記載されていることを補足する。
委員	<p>○その他</p> <p>スポーツセンターの大規模改修か建替えか、少なくとも古い屋内プールの施設跡地の利用を考えなければならないと考える。一市民としての意見だが、スポーツセンターは、既存市民のスポーツ活動の受益のためだけではなく、市の発展に資するものでないといけないと考える。将来の人口推計の減少カーブを維持するというために様々な施策を行っているので、魅力ある戸田市を作って、市外の方々が戸田市民になりたい、移住したいという象徴を与えてほしい。そのために、スポーツセンターなどの魅力的なハードをもっている施策なので、生かしていただきたい。東京オリンピックではボートがあったから、ボートのまちとしてレガシーを生かしているが、ボートだけでなく、時代の変化や流行なども勘案して、例えばボルダリング、スケートボードやBMXの不足しているパークを作るなど、新しい魅力的な発想で、スポーツセンターの将来ビジョンを考えてほしい。</p>

委員長	<p>スポーツ・レクリエーション事業は他の自治体でも推進している。しかもこの施策は半世紀前くらいからずっと行われていて、高度経済成長期以降、余暇時間をいかに活用していくという中からでてきているが、時代はその間、変わってきている。今後、健康増進や移住促進、産業経済、地域活性化という他の施策とスポーツ・レクリエーション施策がどのような関係になるのかというと、スポーツ・レクリエーションを通じた他の施策の目的を達成するための手段として位置づけていくのではないかと考えている。そういう視点でみると、これまで行ってきた事業であるとか、今ある施設が果たして妥当であるのかということ少し見直していく必要があるが、スポーツ推進計画が令和7年度まで動いているので、この計画が改定されるとき議論に委ねざるを得ない。それとは別にハードに関しては、公共施設マネジメントも必要になってくる。委員からもあったが、将来のまちづくりをどうしていくのかという点が重要である。</p> <p>5 閉 会</p>
-----	--